

# 第1回 答案練習

## 日商簿記検定試験 2級商業簿記・工業簿記 (制限時間 2 時間)

	出題内容とコメント		時間の目安	目標得点	解答順序 (参考)
準備	解き始める前に、問題用紙と答案用紙にざっと目を通し、どの順番で解くのか決めておきましょう。また、この問題は何分までと区切りを決めて、時間になったら次の問題に進むということも重要になります。		5分	-	0番
第1問	1	仕入割引	15分	16点/20点	3番
	2	電子記録債権の割引			
	3	剰余金の処分			
	4	源泉所得税			
	5	売上原価対立法			
[新]は平成29年度より新たに出题範囲となった論点です。					
第2問	伝票にもとづく、仕訳日計表・総勘定元帳・得意先元帳および仕入先元帳への記入が問われています。伝票の推定箇所を先に埋めると解きやすくなります。		25分	18点/20点	5番
第3問	損益計算書の作成が問われています。勘定科目(表示科目)の表示箇所を間違えないように注意しましょう。		30分	14点/20点	4番
第4問	本社工場会計に関する問題です。工場で行われる仕訳が問われています。		20分	16点/20点	1番
第5問	CVP分析に関する問題です。売上高に比例して発生する変動費と、一定額発生する固定費の違いをしっかりと確認しておきましょう。		20分	16点/20点	2番
見直し	最後の5分間で全体を見直しましょう。計算用紙には書いてあっても、答案用紙に記入していないということがないように注意しましょう。		5分	-	6番

\*第1回～第4回の答案練習には、問題用紙にヒントがついています。

受験番号 \_\_\_\_\_

第1回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第1問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ①

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 \_\_\_\_\_

第1回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第2問	

氏名 \_\_\_\_\_  
生年月日 \_\_\_\_\_

**2 級** ②  
**商業簿記**

**第2問** (20点)  
(1)

仕 訳 日 計 表

平成27年6月1日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
	(省 略)	現 金	(省 略)	
		受 取 手 形		
		売 掛 金		570,000
		未 収 入 金		
		土 地		
		支 払 手 形		80,000
150,000		買 掛 金		
		未 払 金		70,000
		借 入 金		
		売 上 入 料		
	支 払 手 数			
	固 定 資 産 売 却 損			

(2)

総 勘 定 元 帳

受 取 手 形

支 払 手 形

平成27年	摘 要	仕丁 (省略)	借 方	貸 方	借/貸	残 高	平成27年	摘 要	仕丁 (省略)	借 方	貸 方	借/貸	残 高
6 1	前月繰越		89,000		借	89,000	6 1	前月繰越			52,000	貸	52,000
〃	仕訳日計表				〃		〃	仕訳日計表				〃	
〃	〃			53,000	〃		〃	〃				〃	

(3)

仕 入 先 元 帳

北 陸 商 店

東 海 商 店

平成27年	摘 要	仕丁 (省略)	借 方	貸 方	借/貸	残 高	平成27年	摘 要	仕丁 (省略)	借 方	貸 方	借/貸	残 高
6 1	前月繰越			218,000	貸	218,000	6 1	前月繰越			155,000	貸	155,000
〃	出金伝票				〃	153,000	〃	出金伝票				〃	
〃	振替伝票				〃		〃	振替伝票			260,000	〃	
〃	〃				〃		〃	〃				〃	

受験番号 \_\_\_\_\_

第1回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第3問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ③

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第3問 (20点)

損 益 計 算 書  
(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位：円)

I	売	上	高			
II	売	上	原	価	(	)
1	期	首	商	棚	卸	高
2	当	期	商	品	仕	入
		合				計
3	期	末	商	品	棚	卸
		差				引
4	棚	卸	減	耗	損	
5	(	)	(	)	(	)
	(	)	(	)	(	)
III	販売費及び一般管理費					
1	給			料	(	)
2	旅	費	交	通	費	(
3	水	道	光	熱	費	(
4	保		険	料	20,000	
5	消	耗	品	費	(	)
6	減	価	償	却	費	(
7	(	)	償	却	(	)
8	貸	倒	引	当	金	繰
9	退	職	給	付	費	入
	(	)	(	)	(	)
IV	営業外収益					
1	受	取	利	息	(	)
V	営業外費用					
1	支	払	利	息	(	)
2	(	)	(	)	(	)
3	貸	倒	引	当	金	繰
	入	益	常	利	益	入
VI	特別利益					
1	(	)	(	)	(	)
VII	特別損失					
1	災	害	損	失	17,340	
	税	引	前	当	期	純
	法	人	税	、	住	民
	(	)	(	)	(	)
	(	)	(	)	(	)

受験番号 \_\_\_\_\_

第1回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第4問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ④

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第4問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

受験番号 \_\_\_\_\_

第1回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第5問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ⑤

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第5問 (20点)

問1  万円

問2  万円

問3  %

問4  万円

問5  万円

# 第2回 答案練習

## 日商簿記検定試験 2級商業簿記・工業簿記

(制限時間 2 時間)

	出題内容とコメント	時間の目安	目標得点	解答順序 (参考)											
準備	解き始める前に、問題用紙と答案用紙にざっと目を通し、どの順番で解くのか決めておきましょう。また、この問題は何分までと区切りを決めて、時間になったら次の問題に進むということも重要になります。	5分	-	0番											
第1問	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>生産高比例法</td> <td rowspan="5">【新】は平成29年度より新たに 出題範囲となった 論点です。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>消費税(税込方式)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>商品保証引当金</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【新】連結会計(資本連結)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>建設仮勘定</td> </tr> </table>	1	生産高比例法	【新】は平成29年度より新たに 出題範囲となった 論点です。	2	消費税(税込方式)	3	商品保証引当金	4	【新】連結会計(資本連結)	5	建設仮勘定	15分	16点/20点	3番
1	生産高比例法	【新】は平成29年度より新たに 出題範囲となった 論点です。													
2	消費税(税込方式)														
3	商品保証引当金														
4	【新】連結会計(資本連結)														
5	建設仮勘定														
第2問	有価証券に関する一連の取引の流れを問う問題です。保有目的ごとの処理をしっかりと確認しておきましょう。	25分	12点/20点	5番											
第3問	貸借対照表の作成が問われています。未処理事項のうち決算整理に関係してくるものに注意しましょう。	30分	14点/20点	4番											
第4問	費目別計算に関する出題です。材料費・労務費・製造間接費の基本的な仕訳について問われています。費目別計算が苦手な方は本問を通してしっかりと確認しておきましょう。	20分	16点/20点	1番											
第5問	等級別総合原価計算に関する問題です。積数は製造原価を按分するために用いるものということに注意しましょう。	20分	16点/20点	2番											
見直し	最後の5分間で全体を見直しましょう。計算用紙には書いてあっても、答案用紙に記入していないということがないように注意しましょう。	5分	-	6番											

\*第1回～第4回の答案練習には、問題用紙にヒントがついています。

受験番号 \_\_\_\_\_

第2回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第1問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ①

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				



受験番号 \_\_\_\_\_

第2回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第2問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ②

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第2問 (20点)

問1

売買目的有価証券

7

日付			摘要	仕丁	借方	貸方	借または貸	残高
年	月	日						
26	5	1						

有価証券利息

38

日付			摘要	仕丁	借方	貸方	借または貸	残高
年	月	日						
26	5	1						

問2	有価証券売却( )	¥
問3	① 満期保有目的債券の次期繰越額	¥
	② 有価証券利息の当期発生額	¥

受験番号 \_\_\_\_\_

第2回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第3問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ③

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第3問 (20点)

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	( )	短期借入金	( )
受取手形	( )	支払手形	( )
売掛金	( )	買掛金	( )
商品	( )	未払金	( )
前払費用	( )	未払費用	( )
( )	( )	( )	( )
貸倒引当金	( △ )	賞与引当金	( )
流動資産合計	( )	流動負債合計	( )
II 固定資産		II 固定負債	
有形固定資産		( )	( )
建物	( )	固定負債合計	( )
建物減価償却累計額	( △ )	負債合計	( )
備品	( )		
備品減価償却累計額	( △ )		
土地	( )		
有形固定資産合計	( )		
無形固定資産		純資産の部	
商標権	( )	I 資本金	( )
無形固定資産合計	( )	II 資本準備金	( )
投資その他の資産	( )	III 利益剰余金	( )
( )	( )	利益準備金	( )
投資その他の資産合計	( )	( )	( )
固定資産合計	( )	利益剰余金合計	( )
資産合計	( )	純資産合計	( )
		負債及び純資産合計	( )

受験番号 \_\_\_\_\_

第2回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第4問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ④

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第4問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

受験番号 \_\_\_\_\_

第2回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第5問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ⑤

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第5問 (20点)

月末仕掛品原価 =  円

完成品総合原価 =  円

等級製品Aの完成品総合原価 =  円

等級製品Bの完成品総合原価 =  円

等級製品Cの完成品総合原価 =  円

# 第3回 答案練習

## 日商簿記検定試験 2級商業簿記・工業簿記

(制限時間 2 時間)

	出題内容とコメント		時間の目安	目標得点	解答順序 (参考)
準備	解き始める前に、問題用紙と答案用紙にざっと目を通し、どの順番で解くのか決めておきましょう。また、この問題は何分までと区切りを決めて、時間になったら次の問題に進むということも重要になります。		5分	-	0番
第1問	1	長期前払費用	15分	16点/20点	3番
	2	不渡手形・営業外手形			
	3	資本的支出・収益的支出			
	4	新リース取引(ファイナンス・リース)			
	5	固定資産の買換			
新は平成29年度より新たに出題範囲となった論点です。					
第2問	連結精算表の作成が問われています。連結貸借対照表・連結損益計算書・連結株主資本等変動計算書のつがなりを意識しましょう。		25分	14点/20点	5番
第3問	損益計算書の作成が問われています。勘定科目(表示科目)の表示箇所を間違えないように注意しましょう。		30分	14点/20点	4番
第4問	個別原価計算に関する問題です。下書きの段階で各指図書状況を丁寧に整理すると解きやすくなります。		20分	14点/20点	1番
第5問	工程別総合原価計算に関する問題です。第2工程の始点においても原料が投入されている点に注意しましょう。		20分	16点/20点	2番
見直し	最後の5分間で全体を見直しましょう。計算用紙には書いてあっても、答案用紙に記入していないということがないように注意しましょう。		5分	-	6番

\*第1回～第4回の答案練習には、問題用紙にヒントがついています。

受験番号 \_\_\_\_\_

第3回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第1問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ①

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

採点欄	
第2問	

氏名

2 級 ②

生年月日

商業簿記

第2問 (20点)

連結精算表

(単位:千円)

科 目	個別財務諸表		修正・消去		連 結 財務諸表
	P 社	S 社	借 方	貸 方	
貸借対照表					連結貸借対照表
諸 資 産	855,000	324,000			
売 掛 金	225,000	180,000			
商 品	180,000	108,000			
土 地	540,000	252,000			
S 社 株 式	270,000				
の れ ん					
資 産 合 計	2,070,000	864,000			
諸 負 債	( 360,000)	( 162,000)			( )
買 掛 金	( 144,000)	( 153,000)			( )
資 本 金	( 1,260,000)	( 252,000)			( )
資 本 剰 余 金	( 90,000)	( 90,000)			( )
利 益 剰 余 金	( 216,000)	( 207,000)			( )
非支配株主持分					( )
負債・純資産合計	( 2,070,000)	( 864,000)			( )
損益計算書					連結損益計算書
売 上 高	( 2,160,000)	( 1,620,000)			( )
売 上 原 価	1,620,000	1,296,000			
販売費及び一般管理費	351,000	153,000			
受 取 配 当 金	( 27,000)				( )
そ の 他 の 費 用	36,000	13,500			
固定資産売却益	( 18,000)	( 4,500)			( )
の れ ん 償 却					
当 期 純 利 益	( 198,000)	( 162,000)			( )
非支配株主に帰属する当期純利益					
親会社株主に帰属する当期純利益					( )
株主資本等変動計算書					連結株主資本等変動計算書
利益剰余金期首残高	( 144,000)	( 90,000)			( )
配 当 金	126,000	45,000			
親会社株主に帰属する当期純利益	( 198,000)	( 162,000)			( )
利益剰余金期末残高	( 216,000)	( 207,000)			( )
非支配株主持分期首残高					( )
非支配株主持分期当期変動額					( )
非支配株主持分期期末残高					( )

受験番号 \_\_\_\_\_

第3回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第3問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ③

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第3問 (20点)

損 益 計 算 書  
(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位：円)

I	売 上 高	(	)	
II	売 上 原 価			
1	期首商品棚卸高	(	)	
2	当期商品仕入高	(	)	
	合 計	(	)	
3	期末商品棚卸高	(	)	
	差 引	(	)	
4	(	)	(	)
5	商品評価損	(	)	
	(	)	(	)
III	販売費及び一般管理費			
1	給 料	9,608,300		
2	水道光熱費	256,500		
3	保 険 料	(	)	
4	退職給付費用	(	)	
5	減価償却費	(	)	
6	貸倒損失	(	)	
7	貸倒引当金繰入	(	)	
	(	)	(	)
IV	営業外収益			
1	受 取 利 息	(	)	
2	有価証券(	)	(	)
V	営業外費用			
1	支 払 利 息	288,000		
2	貸倒引当金繰入	(	)	
3	有価証券売却損	964,000	(	)
	(	)	(	)
VI	特別利益			
1	固定資産売却益	(	)	
VII	特別損失			
1	(	)	(	)
	税引前当期純利益	(	)	
	法人税、住民税及び事業税	(	)	
	(	)	(	)



受験番号 \_\_\_\_\_

第3回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第4問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ④

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第4問 (20点)

問1

仕 掛 品		(単位：円)
6/1 月初有高	( )	6/30 製 品 ( )
30 直接材料費	( )	〃 月 末 有 高 ( )
〃 直接労務費	( )	
〃 製造間接費	( )	
	( )	( )

月次損益計算書		(単位：円)
売 上 高		9,320,000
売 上 原 価		
月初製品有高	560,000	
当月製品製造原価	( )	
合 計	( )	
月末製品有高	( )	
差 引	( )	
原 価 差 異	( )	( )
売上総利益		( )
販売費及び一般管理費		1,870,000
営 業 利 益		( )

問2

予 算 差 異 =  円 ( 借方差異 ・ 貸方差異 )  
 いずれかを○で囲むこと

操 業 度 差 異 =  円 ( 借方差異 ・ 貸方差異 )  
 いずれかを○で囲むこと

受験番号 \_\_\_\_\_

第3回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第5問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ⑤

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第5問 (20点)

第1工程月末仕掛品の原料費 =  円

第1工程月末仕掛品の加工費 =  円

第2工程月末仕掛品の前工程費 =  円

第2工程月末仕掛品の加工費 =  円

第2工程完成品総合原価 =  円

# 第4回 答案練習

## 日商簿記検定試験 2級商業簿記・工業簿記

(制限時間 2 時間)

	出題内容とコメント	時間の目安	目標得点	解答順序 (参考)
準備	解き始める前に、問題用紙と答案用紙にざっと目を通し、どの順番で解くのか決めておきましょう。また、この問題は何分までと区切りを決めて、時間になったら次の問題に進むということも重要になります。	5分	-	0番
第1問	1 有価証券の売却（端数利息）	15分	16点／20点	3番
	2 新課税所得の計算			
	3 本支店会計（支店間取引）			
	4 株式の発行			
	5 新外貨建取引			
新は平成29年度より新たに出題範囲となった論点です。				
第2問	固定資産に関する一連の取引の流れを問う問題です。一つひとつの取引を丁寧に読み取り、仕訳をすることが重要です。	25分	14点／20点	4番
第3問	連結第2年度の連結損益計算書および連結貸借対照表の作成が問われています。開始仕訳を間違えないように注意しましょう。	30分	14点／20点	5番
第4問	製造原価報告書の作成と仕掛品勘定への記入が問われています。製造原価報告書と仕掛品勘定では、費目別の集計の仕方が異なるので注意しましょう。	20分	14点／20点	1番
第5問	標準原価計算の仕訳と差異分析について問われています。勘定記入の方法の違いは、差異の金額に影響を与えないことを確認しておきましょう。	20分	16点／20点	2番
見直し	最後の5分間で全体を見直しましょう。計算用紙には書いてあっても、答案用紙に記入していないということがないように注意しましょう。	5分	-	6番

\*第1回～第4回の答案練習には、問題用紙にヒントがついています。

受験番号 \_\_\_\_\_

第4回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第1問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ①

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 \_\_\_\_\_

第4回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第2問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ②

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第2問 (20点)

問1	¥	問2	¥	問3	¥
----	---	----	---	----	---

問4

備 品

日 付			摘 要	借 方			日 付			摘 要	貸 方		
26	1	1	前期繰越				26	1	1				
								12	31				

備品減価償却累計額

日 付			摘 要	借 方			日 付			摘 要	貸 方		
26	1	1					26	1	1	前期繰越			
	12	31						12	31				

問5	¥	問6	¥
----	---	----	---

受験番号 \_\_\_\_\_

第4回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第3問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ③

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第3問 (20点)

連結損益計算書

自×2年4月1日 至×3年3月31日 (単位:千円)

I 売上	上	高	( )
II 売上	上	原価	( )
	売上	総利益	( )
III 販売	費	及び	( )
	営業	一般管理	( )
		利益	( )
IV 営業	外	取	( )
V 営業	外	費用	( )
	当期	純利益	( )
		非支配株主に	( )
		親会社株主に	( )

連結貸借対照表

×3年3月31日 (単位:千円)

資産	金額	負債・純資産	金額
諸資産		諸負債	
売掛金		買掛金	
(貸倒引当金)	△	資本	
商品		資本剰余金	
のれん		利益剰余金	
		非支配株主持分	

受験番号 \_\_\_\_\_

第4回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第4問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ④

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第4問 (20点)

製造原価報告書 (単位：円)

I 材料費			
1. 期首材料棚卸高		120,000	
2. 当期材料仕入高	( )		
合計	( )		
3. 期末材料棚卸高	( )		( )
II 労務費			
1. 賃金	( )		
2. 給料	( )		( )
III 経費			( )
合計			( )
製造間接費配賦差異			( )
当期総製造費用			( )
期首仕掛品棚卸高			( )
合計			( )
期末仕掛品棚卸高			( )
当期製品製造原価			<u>19,700,000</u>

仕掛品 (単位：円)

前期繰越	( )	当期完成高	( )
直接材料費	8,295,000	次期繰越	( )
直接労務費	( )		
製造間接費	( )		
	<u>( )</u>		<u>( )</u>

受験番号 \_\_\_\_\_

第4回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第5問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ⑤

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第5問 (20点)

- 問1  円
- 問2  円 ( 借方差異 ・ 貸方差異 )  
いずれかを○で囲むこと
- 問3  円 ( 借方差異 ・ 貸方差異 )  
いずれかを○で囲むこと
- 問4  円 ( 借方差異 ・ 貸方差異 )  
いずれかを○で囲むこと
- 問5  円 ( 借方差異 ・ 貸方差異 )  
いずれかを○で囲むこと
- 問6  円 ( 借方差異 ・ 貸方差異 )  
いずれかを○で囲むこと



# 第5回 答案練習

(第146回本試験問題 合格率:47.5%)

## 日商簿記検定試験 2級商業簿記・工業簿記

(制限時間 2 時間)

第5回答案練習は、第146回本試験問題です。

本試験と同様の条件で、時間を計って解いてみてください。

	出題内容とコメント	時間の目安	目標得点	解答順序 (参考)										
準備	解き始める前に、問題用紙と答案用紙にざっと目を通し、どの順番で解くのか決めておきましょう。また、この問題は何分までと区切りを決めて、時間になったら次の問題に進むということも重要になります。	5分	-	0番										
第1問	<table border="1"><tr><td>1</td><td>クレジット売掛金</td></tr><tr><td>2</td><td>研究開発費</td></tr><tr><td>3</td><td>新圧縮記帳</td></tr><tr><td>4</td><td>株式の発行</td></tr><tr><td>5</td><td>消費税（税抜方式）</td></tr></table> <p>新は平成29年度より新たに出題範囲となった論点です。</p>	1	クレジット売掛金	2	研究開発費	3	新圧縮記帳	4	株式の発行	5	消費税（税抜方式）	20分	16点/20点	3番
1	クレジット売掛金													
2	研究開発費													
3	新圧縮記帳													
4	株式の発行													
5	消費税（税抜方式）													
第2問	銀行勘定調整表を中心とした現金預金に関する問題です。企業側の調整にのみ仕訳が必要なことを意識して解答しましょう。	25分	12点/20点	4番										
第3問	精算表を作成する問題です。未処理事項のうち、資本的支出については減価償却の計算にも影響するため、問題文をしっかりと読んでから解くようにしましょう。	30分	16点/20点	5番										
第4問	標準原価計算に関する出題です。主にシングル・プランによる勘定記入について問われています。苦手な方は、パーソナル・プランとの違いについてテキストに戻り確認しておきましょう。	20分	16点/20点	2番										
第5問	単純総合原価計算に関する出題です。本問を通して平均法と先入先出法の処理の違いを確認しておきましょう。	15分	16点/20点	1番										
見直し	最後の5分間で全体を見直しましょう。計算用紙には書いてあっても、答案用紙に記入していないということがないように注意しましょう。	5分	-	6番										

受験番号 \_\_\_\_\_

第5回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第1問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ①

生年月日 \_\_\_\_\_

商 業 簿 記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 \_\_\_\_\_

第5回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第2問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ②

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第2問 (20点)

問1

銀行勘定調整表

平成X年3月31日

(単位：円)

銀行の残高証明書の残高		(		)
加算：[	]	(		)
[	]	(		)
減算：[	]	(		)
[	]	(		)
東京商店の当座預金勘定の残高		(		)

問2

	東京商店の修正仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問3

貸借対照表に計上される現金の金額	¥
貸借対照表に計上される当座預金の金額	¥

受験番号 \_\_\_\_\_

第5回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第3問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ③

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第3問 (20点)

精算表

(単位:円)

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	29,000							
当座預金	162,300							
受取手形	106,000							
売掛金	200,000							
繰越商品	308,000							
仮払金	30,000							
建物	750,000							
備品	530,000							
建設仮勘定	240,000							
満期保有目的債券	595,000							
支払手形		27,000						
買掛金		100,000						
退職給付引当金		180,000						
貸倒引当金		2,500						
建物減価償却累計額		237,500						
備品減価償却累計額		190,800						
資本金		1,392,000						
繰越利益剰余金		437,500						
売上		2,980,000						
有価証券利息		3,000						
仕入	2,070,000							
給料	400,000							
水道光熱費	100,000							
保険料	30,000							
	5,550,300	5,550,300						
売上原価								
商品評価損								
棚卸減耗損								
貸倒引当金( )額								
貸倒損失								
減価償却費								
退職給付費用								
修繕費								
( )保険料								
為替( )								
当期純( )								

受験番号 \_\_\_\_\_

第5回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第4問	
第5問	

氏名 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_

2 級 ④

工業簿記

第4問 (20点)

問1

借方科目	金額	貸方科目	金額

問2

材 料		仕 掛 品	
買掛金( )	仕掛品( )	月初有高 80,000	製 品( )
	価格差異( )	材 料( )	月末有高( )
	数量差異( )	加 工 費( )	
月末有高( )		( )	( )
( )	( )		

  

買 掛 金	価 格 差 異
材 料( )	材 料( )

  

数 量 差 異
材 料( )

第5問 (20点)

問1

総合原価計算表 (単位:円)

	直接材料費	加 工 費	合 計
月初仕掛品原価	1,019,000	850,000	1,869,000
当月製造費用	6,240,000	9,750,000	15,990,000
合 計	7,259,000	10,600,000	17,859,000
差引: 月末仕掛品原価	( )	( )	( )
完成品総合原価	( )	( )	( )

問2

完成品単位原価 =  円/個

当月の売上原価 =  円

# 第6回 答案練習

(第145回本試験問題 合格率:25.0%)

## 日商簿記検定試験 2級商業簿記・工業簿記

(制限時間 2 時間)

第6回答案練習は、第145回本試験問題です。

本試験と同様の条件で、時間を計って解いてみてください。

	出題内容とコメント	時間の目安	目標得点	解答順序 (参考)	
準備	解き始める前に、問題用紙と答案用紙にざっと目を通し、どの順番で解くのか決めておきましょう。また、この問題は何分までと区切りを決めて、時間になったら次の問題に進むということも重要になります。	5分	-	0番	
第1問	1 固定資産の割賦購入	20分	16点/20点	3番	[新]は平成29年度より新たに出題範囲となった論点です。
	2 合併				
	3 有価証券の購入(端数利息)				
	4 役務収益・役務原価				
	5 本店会計				
第2問	株主資本等変動計算書を作成する問題です。金額が負の値になるときは金額の前に△を付けることを忘れないようにしましょう。	25分	14点/20点	4番	
第3問	貸借対照表の作成が問われています。修正事項のうち決算整理に関係してくるものに特に注意しましょう。	30分	14点/20点	5番	
第4問	部門別計算に関する出題です。直接配賦法・実際配賦という易しめの問題ですので、難しいと感じた方はテキストを見ながらでもよいのでしっかりと復習しておいてください。	15分	16点/20点	1番	
第5問	直接原価計算による損益計算書の作成が問われています。全部原価計算との違いに着目しましょう。	20分	16点/20点	2番	
見直し	最後の5分間で全体を見直しましょう。計算用紙には書いてあっても、答案用紙に記入していないということがないように注意しましょう。	5分	-	6番	

受験番号 \_\_\_\_\_

第6回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第1問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ①

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 \_\_\_\_\_

第 6 回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第2問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ②

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第2問 (20点)

株主資本等変動計算

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	20,000	1,500	800	2,300
当期変動額				
剰余金の配当	( )	( )	( )	( )
別途積立金の積立て				
新株の発行	( )	( )		( )
当期純利益				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	( )	( )	( )	( )
当期末残高	( )	( )	( )	( )

(下段へ続く)

(上段より続く)

	株主資本				株主 資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	利益剰余金					その 他有 価証 券評 価差 額金	評 価・ 換 算 差 額 合 計	
	利 益 準 備 金	その 他利 益剰 余金 別 途積 立金	利 益 剰 余金 繰 越利 益剰 余金	利 益 剰 余金 合 計				
当期首残高	500	100	2,600	3,200	25,500	80	80	25,580
当期変動額								
剰余金の配当	( )	( )	( )	( )	( )			( )
別途積立金の積立て		( )	( )	—	—			—
新株の発行					( )			( )
当期純利益			( )	( )	( )			( )
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						( )	( )	( )
当期変動額合計	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
当期末残高	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )



受験番号 \_\_\_\_\_

第6回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第3問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ③

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第3問 (20点)

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
現金預金	( )	短期借入金	( )
受取手形	( )	支払手形	( )
売掛金	( )	電子記録債務	( )
商品	( )	買掛金	( )
前払費用	( )	未払法人税等	( )
未収入金	( )	未払費用	( )
( )	( )	流動負債合計	( )
貸倒引当金	(△ )		
流動資産合計	( )	II 固 定 負 債	
II 固 定 資 産		( )	( )
有形固定資産		退職給付引当金	( )
建物	( )	固定負債合計	( )
建物減価償却累計額	(△ )	負債合計	( )
備品	( )		
備品減価償却累計額	(△ )	純 資 産 の 部	
土地	( )	I 資 本 金	( )
有形固定資産合計	( )	II 資 本 準 備 金	( )
投資その他の資産	( )	III 利 益 剰 余 金	( )
( )	( )	利益準備金	( )
長期前払費用	( )	( )	( )
投資その他の資産合計	( )	利益剰余金合計	( )
固定資産合計	( )	純資産合計	( )
資 産 合 計	( )	負債及び純資産合計	( )

受験番号 \_\_\_\_\_

第6回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第4問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ④

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第4問 (20点)

問1

補助部門費配賦表 (単位：円)

費目	合計	製造部門		補助部門		
		切削部	組立部	修繕部	動力部	工場事務部
部門費	2,200,000	300,000	120,000	350,000	630,000	800,000
工場事務部費						
動力部費						
修繕部費						
製造部門費						

問2

製造間接費 - 仕掛 (単位：円)

月初有高	103,000	完成高	( )
当月実際配賦額	( )	月末有高	( )
	( )		( )

受験番号 \_\_\_\_\_

第6回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第5問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ⑤

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第5問 (20点)

直接原価計算による損益計算書

(単位：円)

			前々期	前期
売	上	高	( )	( )
変	動	費	( )	( )
	貢	利	( )	( )
固	献	益	( )	( )
	定	費	( )	( )
	業	利	( )	( )
	営	益	( )	( )

# 第7回 答案練習

(第144回本試験問題 合格率:13.4%)

## 日商簿記検定試験 2級商業簿記・工業簿記

(制限時間 2 時間)

第7回答案練習は、第144回本試験問題です。

本試験と同様の条件で、時間を計って解いてみてください。

※第3問については、一部改題を行っている箇所があります。

	出題内容とコメント	時間の目安	目標得点	解答順序 (参考)
準備	解き始める前に、問題用紙と答案用紙にざっと目を通し、どの順番で解くのか決めておきましょう。また、この問題は何分までと区切りを決めて、時間になったら次の問題に進むということも重要になります。	5分	-	0番
第1問	1 ソフトウェア	15分	16点/20点	3番
	2 固定資産の売却・営業外手形			
	3 クレジット売掛金			
	4 発送運賃と引取運賃			
	5 子会社株式の購入			
【新】は平成29年度より新たに出題範囲となった論点です。				
第2問	商品売買に係る一連の処理が問われています。売上収益を認識する基準に注意しましょう。	30分	12点/20点	5番
第3問	精算表を作成する問題です。売掛金に関する処理が複数あるので注意しましょう。	25分	16点/20点	4番
第4問	個別原価計算に関する問題です。材料・製造間接費・仕掛品勘定への記入が問われています。材料費の分類を意識して解くと良いでしょう。	20分	16点/20点	2番
第5問	単純総合原価計算に関する問題です。原料の平均的投入・仕損品に評価額がある場合の処理に注意しましょう。	20分	16点/20点	1番
見直し	最後の5分間で全体を見直しましょう。計算用紙には書いてあっても、答案用紙に記入していないということがないように注意しましょう。	5分	-	6番

受験番号 \_\_\_\_\_

第7回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第1問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ①

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 \_\_\_\_\_

第7回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第2問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ②

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第2問 (20点)

問1

総勘定元帳(抜粋)

売掛金

5

平 28	成 年	摘 要	借 方	平 28	成 年	摘 要	貸 方
4	1	前 期 繰 越	1,700,000				
	20	売 上			30	次 月 繰 越	

商 品

8

平 28	成 年	摘 要	借 方	平 28	成 年	摘 要	貸 方
4	1	前 期 繰 越		4	6		
	5				20		
	6				30	次 月 繰 越	

問2

- ① 当 月 の 売 上 高 ￥ \_\_\_\_\_
- ② 当 月 の 売 上 原 価 ￥ \_\_\_\_\_
- ③ 当月末の売上割戻引当金勘定の残高 ￥ \_\_\_\_\_

受験番号 \_\_\_\_\_

第7回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第3問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ③

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第3問 (20点)

精算表

平成28年3月31日

(単位:円)

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	65,350							
当座預金	450,000							
受取手形	280,000							
売掛金	388,000							
売買目的有価証券	147,550							
繰越商品	69,800							
建物	7,500,000							
備品	670,000							
建設仮勘定	1,200,000							
のれん	196,000							
満期保有目的債券	495,200							
支払手形		263,000						
買掛金		320,000						
退職給付引当金		680,000						
貸倒引当金		28,000						
建物減価償却累計額		1,575,000						
備品減価償却累計額		326,800						
資本金		6,500,000						
利益準備金		540,000						
繰越利益剰余金		383,600						
売上		6,768,000						
有価証券利息		7,500						
仕入	5,450,000							
給料	360,000							
保険料	120,000							
	17,391,900	17,391,900						
( ) 益								
為替 ( )								
貸倒引当金 ( )								
( ) 評価損								
( ) 損								
減価償却費								
( ) 償却								
( ) 費用								
( ) 保険料								
当期純 ( )								

受験番号 \_\_\_\_\_

第7回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第4問	
第5問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ④

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第4問 (20点)

材 料	
月初有高 ( )	直接材料費 ( )
当月仕入高 ( )	間接材料費 ( )
_____ ( )	月末有高 ( )
	_____ ( )

製造間接費	
間接材料費 ( )	予定配賦額 ( )
間接労務費 388,000	配賦差異 ( )
間接経費 425,000	_____ ( )
_____ ( )	_____ ( )

仕 掛 品	
月初有高 233,000	当月完成高 ( )
直接材料費 ( )	月末有高 214,000
直接労務費 101,000	_____ ( )
製造間接費 ( )	_____ ( )
_____ ( )	_____ ( )

第5問 (20点)

月末仕掛品のA原料費 =  円

月末仕掛品のB原料費 =  円

月末仕掛品の加工費 =  円

完成品総合原価 =  円

完成品単位原価 =  円/kg



# 第8回 答案練習

(第147回本試験問題 合格率:21.2%)

## 日商簿記検定試験 2級商業簿記・工業簿記

(制限時間 2 時間)

第8回答案練習は、第147回本試験問題です。  
本試験と同様の条件で、時間を計って解いてみてください。

	出題内容とコメント	時間の目安	目標得点	解答順序 (参考)											
準備	解き始める前に、問題用紙と答案用紙にざっと目を通し、どの順番で解くのか決めておきましょう。また、この問題は何分までと区切りを決めて、時間になったら次の問題に進むということも重要になります。	5分	-	0番											
第1問	<table border="1"><tr><td>1</td><td>建設仮勘定</td><td rowspan="5">新は平成29年度より新たに出題範囲となった論点です。</td></tr><tr><td>2</td><td>新為替予約</td></tr><tr><td>3</td><td>クレジット販売</td></tr><tr><td>4</td><td>新リース取引</td></tr><tr><td>5</td><td>自社利用のソフトウェア</td></tr></table>	1	建設仮勘定	新は平成29年度より新たに出題範囲となった論点です。	2	新為替予約	3	クレジット販売	4	新リース取引	5	自社利用のソフトウェア	20分	12点/20点	3番
1	建設仮勘定	新は平成29年度より新たに出題範囲となった論点です。													
2	新為替予約														
3	クレジット販売														
4	新リース取引														
5	自社利用のソフトウェア														
第2問	合併、買収、連結に係る各社の処理が問われています。連結以外は基本的な問題のため、計算ミスをしないようにしましょう。	25分	14点/20点	5番											
第3問	損益計算書を作成する問題です。仕訳のつど、解答を記入するようにしましょう！	25分	14点/20点	4番											
第4問	本社工場会計の仕訳問題です。本社が行っている業務から本社元帳にある勘定と、工場元帳にある勘定を把握した上で解きましょう。	20分	20点/20点	1番											
第5問	標準原価計算に関する仕掛品勘定と損益計算書の作成問題です。実際原価と標準原価を使う箇所を区別した上で解きましょう！	20分	20点/20点	2番											
見直し	最後の5分間で全体を見直しましょう。計算用紙には書いてあっても、答案用紙に記入していないということがないように注意しましょう。	5分	-	6番											

受験番号 \_\_\_\_\_

第8回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第1問	

氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_

2 級 ①

商業簿記

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 \_\_\_\_\_

第 8 回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第2問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ②

生年月日 \_\_\_\_\_

商 業 簿 記

第 2 問 (20点)

問 1

(1)

借方科目	金 額	貸方科目	金 額

(2)

総勘定元帳 (抄)

のれん

35

日 付			摘 要	仕 丁	借 方	日 付			摘 要	仕 丁	貸 方
28	4	1	前期繰越	✓	4,200,000	29	3	31		20	
		1		1							

問 2

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
(1)				
(2)				
(3)	①			
	②			
	③			

受験番号 \_\_\_\_\_

第8回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第3問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ③

生年月日 \_\_\_\_\_

商業簿記

第3問 (20点)

損 益 計 算 書  
(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位：円)  
6,580,000

I	売 上 高		
II	売 上 原 価		
1	商 品 期 首 棚 卸 高	( )	
2	当 期 商 品 仕 入 高	( )	
	合 計	( )	
3	商 品 期 末 棚 卸 高	( )	
	差 引	( )	
4	( )	( )	
5	商 品 評 価 損	( )	( )
	( )		( )
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		
1	給 料	300,000	
2	退 職 給 付 費 用	( )	
3	減 価 償 却 費	( )	
4	消 耗 品 費	( )	
5	保 険 料	10,000	
6	貸 倒 引 当 金 繰 入	( )	
7	貸 倒 損 失	( )	
8	( ) 償 却	( )	( )
	( )		( )
IV	営 業 外 収 益		
1	有 価 証 券 利 息		( )
V	営 業 外 費 用		
1	支 払 利 息	( )	
2	( )	( )	( )
	( )		( )
VI	特 別 利 益		
1	( )		( )
VII	特 別 損 失		
1	( )		( )
	税 引 前 当 期 純 利 益		( )
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		( )
	( )		( )

受験番号 \_\_\_\_\_

第8回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第4問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ④

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第4問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

受験番号 \_\_\_\_\_

第8回 答案練習・答案用紙

採点欄	
第5問	

氏名 \_\_\_\_\_

2 級 ⑤

生年月日 \_\_\_\_\_

工業簿記

第5問 (20点)

仕掛品

月初有高 ( )	完成高 ( )
直接材料費 ( )	月末有高 ( )
加工費 ( )	標準原価差異 ( )
( )	( )

月次損益計算書 (一部)

		(単位:円)
I 売上高		( )
II 売上原価		
月初製品棚卸高	( )	
当月製品製造原価	( )	
合計	( )	
月末製品棚卸高	( )	
差引	( )	
標準原価差異	( )	( )
売上総利益		( )
III 販売費及び一般管理費		( )
営業利益		( )